

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	エレメント Ne10	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.540	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：ベンデッタ 357 マグナム**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

表面加工

箱出し状態

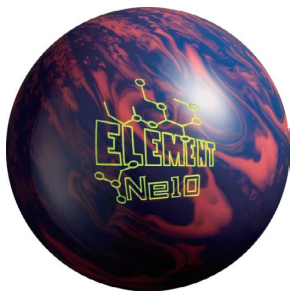
加工

ペーパー

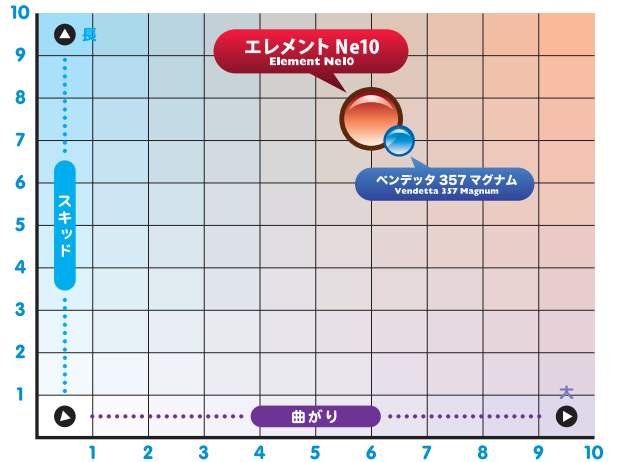
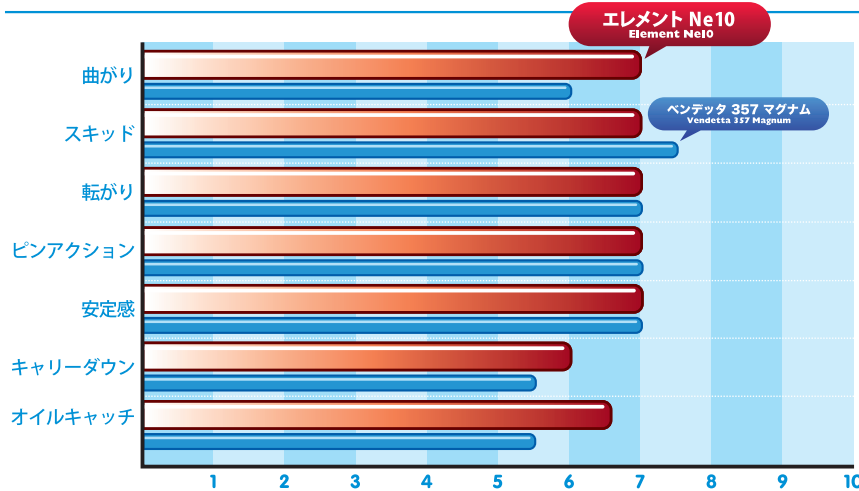
ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レールコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil	バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle	レンジス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll
------------	-----------	-----------------	------------	-----------------	-----------	--------------	--------	---------------	-----	--------------	-------------	------	------------	--------------	----------	-------------	-----------

**ボールの評価**

ダイノタン社のエレメントと聞けば、やはりバックエンドリアクションのシャープさが印象に浮かびます。エレメントシリーズの名に恥じぬようバックエンドリアクションのシャープさはそのままに、新たにエレメントシリーズの最新作エレメント Ne10の発売です。今回のエレメント Ne10のコア形状はエレメントコアですが、注目すべきは Nex Gen Soaker カバーストックです。この Nex Gen Soaker カバーストックは爆発的な人気を誇り、完売に至ったスレッシュホールドで使ったカバーストックのパーティクルを混入していないバージョンで、キャッチ力を感じながら程よくスキッドを得られ、ドライゾーンでは反応の良いリアクションを得られるカバーストックです。投球した印象は、**キャッチ力を感じるのにスキッドを得られる不思議な感じで、バックエンドのリアクションはエレメントそのものです。前作のエレメント Zr40よりもオイル上でのキャッチ力は強くなっていて、バックエンドのリアクションも強化されているように感じます。**ドライゾーンで一気に起き上がろうとする軸の起き上がり方をみても、このカバーストックはダイノタン社一番の反応の良いカバーストックと言えます。エレメントコアに Nex Gen Soaker カバーストックの組み合わせは、ダイノタン社で今一番過激な設定であることは間違いありません。

**特記事項**

**エレメントシリーズ最新作の Ne10。前作 Zr40 を凌ぐキャッチ力とバックエンドリアクションをお確かめください。**